

**① ふせごう!なくそう!子ども虐待**

11月は「児童虐待防止推進月間」です。みんなで、地域で、子どもたちの笑顔を守りましょう。

**◆オレンジリボンキャンペーンについて**

オレンジリボン運動は、「子ども虐待の防止」の象徴としてのオレンジリボンを広め、「子どもの虐待のない社会の実現」をめざす運動です。オレンジリボンのオレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表しています。「私たち一人ひとりにできること」を考え、行動して、オレンジリボンの輪を広げていきましょう。

**◆子ども虐待防止のためにあなたにできること**

- 子どもの心身の安全が守られていない、脅かされている可能性があると思ったら、児童相談所全国共通ダイヤル189へ連絡してください。秘密は守られ、匿名の連絡も可能です。
- 子育てに大変そうな人がいたら、優しく声をかけてあげてください。
- 子育てに悩んでいる人は、抱え込まず、気軽に「黒潮町こども家庭センター」へご相談ください。

○お問い合わせ 黒潮町こども家庭センター(本庁 健康福祉課)

- 児童福祉に関する相談 福祉係 ☎43-2124 ●母子保健に関する相談 保健衛生係 ☎43-2836

**① 「ヤングケアラー」をご存じですか**

ヤングケアラーとは「家族のために、大人がするような家事(掃除、洗濯、料理など)や家族のお世話などを日常的に行う子どものこと」といわれています。家族のお世話や家事を手伝うことは素晴らしいことですが、「過度な負担」や「本来大人が担うべき責任」を日常的に背負うことで、学業や健康、将来の進路などに影響が出ることも心配されます。具体的には、以下のような状況にある子どもたちのことです。

- 障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
- 家族に代わり、幼いきょうだいのお世話をしている。
- 障がいや病気のあるきょうだいのお世話や見守りをしている。
- 目の離せない家族の見守り・声かけ・気づかいなどの情緒的ケアをしている。
- 日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。
- 障がいや病気のある家族に代わり、家計を支えるために働いている。
- 精神疾患やアルコール・薬物・ギャンブルなどの問題を抱える家族の情緒的ケアや周囲との調整などを行っている。
- がん、難病のほか、慢性的な病気の家族の看病をしている。
- 障がいや病気のある家族の身の回りのお世話、介助をしている。
- 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

**◆みんなでヤングケアラーを支える社会をめざして**

家族のケアの大変さについて、子どもからは声を上げにくく、中には他人に知られたくないと思っているなど、課題が表面化しづらい問題です。そのため、周囲の大人が子どもの置かれている状況に気づき必要な支援につなぐことが大切です。

○お問い合わせ 本庁 健康福祉課 福祉係 ☎43-2124

**① はた若者サポートステーション 黒潮町出張相談**

相談しながら仕事探しをしたい、履歴書添削をしてもらいたい、面接練習がしたいなど就活に不安がある方はいらっしゃいませんか。そんな就活に関する不安を抱えている若者(15~49歳)のために、町での無料出張相談を行っています。ご利用を希望の方はお気軽にご相談ください。※出張相談は予約制です。

**◆相談日・場所**

- 11月24日(火)、令和9年1月25日(月)、3月30日(火) あかつき館 2階 和室
- 12月21日(月)、令和9年2月22日(月) ふるさと総合センター 和室

**◆時間 午後1時30分~午後3時30分**

※ホームページにはLINEや問い合わせフォームもあります。

○お問い合わせ はた若者サポートステーション ☎34-9100



はた若者  
サポートステーション  
ホームページ